



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月2日

上場会社名 豊田通商株式会社 上場取引所 東 名  
コード番号 8015 URL <https://www.toyota-tsusho.com/>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 貸谷 伊知郎  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐藤 力 TEL 052-584-5482  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業活動に係る利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,710,182	4.7	354,135	12.0	384,039	8.5	280,598	7.8	270,858	15.0	444,350	33.0
2023年3月期第3四半期	7,367,402	27.5	316,195	39.1	353,840	35.6	260,220	30.5	235,428	30.6	334,081	37.7

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	769.76	-
2023年3月期第3四半期	669.10	-

(注) 「基本的1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,853,143	2,413,730	2,260,938	33.0
2023年3月期	6,377,064	2,068,529	1,914,327	30.0

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	96.00	-	106.00	202.00
2024年3月期	-	125.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	125.00	250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	円 銭
通期	320,000	12.6	909.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は [添付資料] 12ページ「2. (5) (会計方針の変更)」をご参照ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	354,056,516株	2023年3月期	354,056,516株
2024年3月期3Q	2,179,712株	2023年3月期	2,192,845株
2024年3月期3Q	351,872,276株	2023年3月期3Q	351,858,212株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 当社は、2024年2月2日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①経営環境

当第3四半期連結累計期間の世界経済を概観しますと、世界的なインフレがピークアウトしつつある一方、金利の高止まり等により景気は減速基調となりました。また、パレスチナ武装勢力・ハマスによるイスラエルへの攻撃に端を発した紛争が勃発し、人質解放や人道的停戦を巡って世界各地での散発的なデモが発生したほか、フーシによる紅海での攻撃が激化する等イランの代理組織を巻き込んだ紛争拡大の懸念が高まりました。

米国経済は、労働市場においてタイトな状況が継続したほか、サービスを中心に個人消費が堅調に推移し、インフレも高止まりとなりました。つなぎ予算の成立により政府機関閉鎖は回避されたものの、歳出削減に関する議論は先送りされる等、今後の見通しに不安が残りました。欧州経済は、継続的なインフレと金融引き締めが景気を下押しし、ドイツではコロナ対策資金転用を巡る違憲判決により財政を圧迫する等先行きの不透明感が強まりました。中国経済は、内需喚起策が実施されるも効果は限定的なものに留まり、長引く不動産不況や対中投資規制の厳格化等により景気は減速基調となりました。新興国はインフレ鈍化で消費が上向くも、引き続き中国を中心とする外需低迷が経済成長のペースを抑制しました。

こうした中、わが国経済は、持ち直しつつある個人消費やコロナ禍前の水準に回復したインバウンドが牽引役となり、景気は引き続き堅調に推移しました。一方、日本銀行は10月に金融政策をやや引き締め方向に修正し、長期金利が上昇する等金融緩和の出口を意識した市場の反応が見られました。

#### ②セグメント別の事業活動

2023年4月1日より自動車本部をモビリティ本部に名称変更しております。

##### (I) 金属

アルミサッシの水平リサイクル拡大を目的に、豊通マテリアル(株)は(株)三光埼玉と共に、アルミサッシスクラップの選別加工事業会社である豊通ソーテック(株)を、2023年10月に設立しました。高品質なリサイクルアルミ原料の供給を通して、サーキュラーエコノミーとカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

##### (II) グローバル部品・ロジスティクス

インド市場における2輪車用EV駆動ユニットの製造・販売を目的に、武蔵精密工業(株)とDelta Electronics, Inc. と共に、2023年9月に合弁会社の設立に合意しました。同国市場をはじめ全世界での2輪EVの普及をリードするとともに、カーボンニュートラルの実現にも貢献していきます。

##### (III) モビリティ

途上国におけるワクチンのラストワンマイル輸送を目的に、Gaviワクチンアライアンスと共同で約1年間にわたり実施した実地走行試験が2023年6月に完了し、ワクチンの破損削減等の成果がGaviワクチンアライアンスに評価されました。途上国におけるワクチンコールドチェーンのラストワンマイル輸送の改善によるグローバルヘルスへ貢献していきます。

##### (IV) 機械・エネルギー・プラントプロジェクト

海運業界のカーボンニュートラル推進を目的に、船舶向けにバイオディーゼル燃料の供給を進めています。2023年8月と10月に神原汽船(株)の定期コンテナ船に、同11月にはトヨフジ海運(株)の外航船に供給を行いました。また、供給するバイオ燃料は、トヨタグループ企業の社員食堂等から回収した廃食油を原料の一部として使用しており、温室効果ガスの削減にとどまらず資源の有効活用にも寄与しています。

##### (V) 化学品・エレクトロニクス

バッテリー電気自動車用電池の生産能力の増強を目的に、Toyota Motor North America, Inc. と共に、現在建設中の車載用電池生産の会社であるToyota Battery Manufacturing, North Carolinaへ約3.7億米ドルを追加投資し、累計投資額が約7.5億米ドルとなる事を、2023年11月に発表しました。需要が拡大する電動車に必要なリチウムイオン電池を生産・供給し、カーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

##### (VI) 食料・生活産業

繊維・ファッション領域のサーキュラーエコノミー推進プロジェクト「PATCHWORKS<sup>tm</sup>」の一環として、アパレル事業者向けに、三井住友海上火災保険(株)と「燃やさない保険」を共同開発し、2023年10月から販売開始しました。本保険では、衣料品に損害が生じた場合、従来は焼却廃棄されていた衣料品を循環させるために、事業者が負担する追加費用を補償します。当社は衣料品を再度繊維原料へ循環する役割を担い、サーキュラーエコノミーの実現に貢献していきます。

## (VII) アフリカ

自動車整備における指導員育成の強化を目的として、2023年11月、CFA0 Motors Angola, S.A. がトヨタアンゴラアカデミーの第2フェーズを開講しました。本件は、自動車整備士の更なるキャリアアップや自立に向けて、TICAD8で締結したMOUに基づき実現したものです。今後もアフリカの未来を担う産業人材の育成に、積極的に取り組んでいきます。

## ③当四半期連結累計期間の経営成績

当社グループの当第3四半期連結累計期間の収益は、金属市況及び欧州電力価格下落の一方で、自動車販売の増加及び自動車生産関連の取り扱い増加等により、前年同四半期連結累計期間を3,427億円(4.7%)上回る7兆7,101億円となりました。

利益につきましては、営業活動に係る利益は、販売費及び一般管理費の増加の一方で、売上総利益の増加により、前年同四半期連結累計期間を380億円(12.0%)上回る3,541億円となりました。四半期利益(親会社の所有者に帰属)は、欧州電力価格及び金属市況の下落等による持分法投資損益の減少があったものの、営業活動に係る利益の増加等により、前年同四半期連結累計期間を354億円(15.0%)上回る2,708億円となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

## (I) 金属

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、自動車生産関連の取り扱い増加の一方で、市況下落等により、前年同四半期連結累計期間を130億円(20.4%)下回る509億円となりました。

## (II) グローバル部品・ロジスティクス

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、日本、北米を中心とした自動車部品の取り扱い増加等により、前年同四半期連結累計期間を89億円(33.4%)上回る354億円となりました。

## (III) モビリティ

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、欧州を中心とした海外自動車販売会社の取扱台数増加等により、前年同四半期連結累計期間を81億円(21.8%)上回る454億円となりました。

## (IV) 機械・エネルギー・プラントプロジェクト

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、欧州電力価格の下落等により、前年同四半期連結累計期間を61億円(22.3%)下回る213億円となりました。

## (V) 化学品・エレクトロニクス

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、エレクトロニクス事業、自動車材料事業における自動車生産関連の取り扱い増加等により、前年同四半期連結累計期間を61億円(15.4%)上回る452億円となりました。

## (VI) 食料・生活産業

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、国内生活産業事業において前期一過性利益があったものの、南米食料事業における輸送費負担減少等により、前年同四半期連結累計期間を17億円(20.0%)上回る100億円となりました。

## (VII) アフリカ

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、西アフリカ地域を中心とした自動車販売会社の取扱台数増加等により、前年同四半期連結累計期間を242億円(71.6%)上回る579億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産につきましては、その他の投資で1,030億円、有形固定資産で985億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4,761億円増加の6兆8,531億円となりました。また、資本につきましては、四半期利益(親会社の所有者に帰属)等により利益剰余金で2,116億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ3,452億円増加の2兆4,137億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年10月31日に公表した連結業績予想から変更しておりません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	771,613	847,629
営業債権及びその他の債権	1,730,426	1,736,116
その他の金融資産	125,913	116,174
棚卸資産	1,227,393	1,243,406
その他の流動資産	213,408	222,031
流動資産合計	4,068,756	4,165,358
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	299,378	354,876
その他の投資	623,951	726,918
営業債権及びその他の債権	42,598	49,266
その他の金融資産	49,625	63,388
有形固定資産	1,004,064	1,102,511
無形資産	184,001	268,457
投資不動産	17,303	17,089
繰延税金資産	36,835	45,674
その他の非流動資産	50,549	59,601
非流動資産合計	2,308,308	2,687,784
資産合計	6,377,064	6,853,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本の部		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,636,877	1,634,392
社債及び借入金	746,668	725,045
その他の金融負債	24,146	20,611
未払法人税等	49,129	54,185
引当金	8,080	9,931
その他の流動負債	211,873	212,114
流動負債合計	2,676,775	2,656,281
非流動負債		
社債及び借入金	1,275,032	1,359,634
営業債務及びその他の債務	97,642	108,399
その他の金融負債	8,214	8,585
退職給付に係る負債	46,152	48,123
引当金	57,586	67,544
繰延税金負債	121,068	158,178
その他の非流動負債	26,061	32,665
非流動負債合計	1,631,759	1,783,131
負債合計	4,308,535	4,439,413
資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	43,812	43,109
自己株式	△3,750	△3,758
その他の資本の構成要素	282,714	418,371
利益剰余金	1,526,615	1,738,279
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,914,327	2,260,938
非支配持分	154,201	152,791
資本合計	2,068,529	2,413,730
負債及び資本合計	6,377,064	6,853,143

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
収益		
商品販売に係る収益	7,224,902	7,554,268
サービス及びその他の販売に係る収益	142,499	155,913
収益合計	7,367,402	7,710,182
原価	△6,631,998	△6,917,914
売上総利益	735,403	792,267
販売費及び一般管理費	△390,651	△428,340
その他の収益・費用		
固定資産処分損益	1,297	1,133
固定資産減損損失	△2,459	—
その他	△27,394	△10,925
その他の収益・費用合計	△28,556	△9,792
営業活動に係る利益	316,195	354,135
金融収益及び金融費用		
受取利息	15,345	23,852
支払利息	△32,914	△45,508
受取配当金	21,199	22,665
その他	△153	5,328
金融収益及び金融費用合計	3,476	6,337
持分法による投資損益	34,168	23,566
税引前四半期利益	353,840	384,039
法人所得税費用	△93,619	△103,440
四半期利益	260,220	280,598
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	235,428	270,858
非支配持分	24,792	9,740
1株当たり四半期利益（親会社の所有者に帰属）		
基本的1株当たり四半期利益（円）	669.10	769.76
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	—	—



## 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	260,220	280,598
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	1,405	213
FVTOCIの金融資産	△15,842	79,149
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△666	660
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	23,323	9,970
在外営業活動体の換算差額	50,886	64,864
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	14,754	8,893
税引後その他の包括利益	73,860	163,752
四半期包括利益	334,081	444,350
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	297,330	428,186
非支配持分	36,750	16,164

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				
				確定給付制度の再測定	FVTOCIの金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計
期首残高	64,936	156,047	△3,769	—	280,549	2,084	△65,190	217,444
四半期利益								
その他の包括利益								
確定給付制度の再測定				1,370				1,370
FVTOCIの金融資産					△16,060			△16,060
キャッシュ・フロー・ヘッジ						22,497		22,497
在外営業活動体の換算差額							54,093	54,093
四半期包括利益	—	—	—	1,370	△16,060	22,497	54,093	61,902
配当金								
自己株式の取得及び処分等		55	22					
非支配持分の取得及び処分		△112,598						
利益剰余金への振替				△1,370	△4,170			△5,541
その他								
所有者との取引額合計	—	△112,543	22	△1,370	△4,170	—	—	△5,541
四半期末残高	64,936	43,504	△3,746	—	260,318	24,582	△11,096	273,805

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
期首残高	1,300,352	1,735,011	207,848	1,942,860
四半期利益	235,428	235,428	24,792	260,220
その他の包括利益				
確定給付制度の再測定		1,370	△4	1,365
FVTOCIの金融資産		△16,060	△410	△16,470
キャッシュ・フロー・ヘッジ		22,497	4,266	26,763
在外営業活動体の換算差額		54,093	8,107	62,200
四半期包括利益	235,428	297,330	36,750	334,081
配当金	△65,485	△65,485	△18,069	△83,554
自己株式の取得及び処分等		77		77
非支配持分の取得及び処分		△112,598	△75,259	△187,857
利益剰余金への振替	5,541	—		—
その他			△310	△310
所有者との取引額合計	△59,943	△178,005	△93,639	△271,644
四半期末残高	1,475,837	1,854,336	150,959	2,005,296

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計
				確定給付制度の再測定	FVTOCIの金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	
期首残高	64,936	43,812	△3,750	—	276,191	17,135	△10,613	282,714
四半期利益								
その他の包括利益								
確定給付制度の再測定				290				290
FVTOCIの金融資産					79,835			79,835
キャッシュ・フロー・ヘッジ						9,940		9,940
在外営業活動体の換算差額							67,261	67,261
四半期包括利益	—	—	—	290	79,835	9,940	67,261	157,327
配当金								
自己株式の取得及び処分等		96	△7					
非支配持分の取得及び処分		△795						
利益剰余金への振替				△290	△21,380			△21,670
その他		△4						
所有者との取引額合計	—	△703	△7	△290	△21,380	—	—	△21,670
四半期末残高	64,936	43,109	△3,758	—	334,646	27,076	56,648	418,371

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
期首残高	1,526,615	1,914,327	154,201	2,068,529
四半期利益	270,858	270,858	9,740	280,598
その他の包括利益				
確定給付制度の再測定		290	△23	266
FVTOCIの金融資産		79,835	△79	79,756
キャッシュ・フロー・ヘッジ		9,940	13	9,953
在外営業活動体の換算差額		67,261	6,513	73,775
四半期包括利益	270,858	428,186	16,164	444,350
配当金	△81,331	△81,331	△14,796	△96,128
自己株式の取得及び処分等		89		89
非支配持分の取得及び処分		△795	△871	△1,666
利益剰余金への振替	21,670	—		—
その他	467	462	△1,906	△1,443
所有者との取引額合計	△59,194	△81,575	△17,574	△99,149
四半期末残高	1,738,279	2,260,938	152,791	2,413,730

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	353,840	384,039
減価償却費及び償却費	97,419	102,794
固定資産減損損失	2,459	—
金融収益及び金融費用	△3,476	△6,337
持分法による投資損益 (△は益)	△34,168	△23,566
固定資産処分損益 (△は益)	△1,297	△1,133
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	139,447	46,094
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△111,258	43,701
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△163,109	△82,979
その他	△37,027	△22,112
小計	242,829	440,499
利息の受取額	13,626	21,860
配当金の受取額	43,379	60,718
利息の支払額	△29,103	△42,767
法人所得税の支払額	△90,097	△109,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	180,634	371,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	5,217	△624
有形固定資産の取得による支出	△108,263	△129,104
有形固定資産の売却による収入	10,630	14,032
無形資産の取得による支出	△15,249	△16,498
無形資産の売却による収入	30	253
投資不動産の取得による支出	△32	△138
投資不動産の売却による収入	—	114
投資の取得による支出	△10,291	△26,356
投資の売却等による収入	9,947	36,185
子会社の取得による収支 (△は支出)	△4,556	△93,890
子会社の売却による収支 (△は支出)	7,201	6,586
貸付けによる支出	△6,935	△6,533
貸付金の回収による収入	5,745	13,316
補助金による収入	8,889	6,021
その他	△943	△2,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,608	△198,678

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	228,225	△94,223
長期借入れによる収入	211,119	196,317
長期借入金の返済による支出	△113,606	△69,908
社債の発行による収入	15,000	40,000
社債の償還による支出	—	△70,706
自己株式の取得による支出	△16	△39
配当金の支払額	△65,485	△81,331
非支配持分株主への配当金の支払額	△18,069	△14,796
非支配持分株主からの払込みによる収入	1,137	779
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	△189,386	△3,997
非支配持分株主への子会社持分売却による収入	156	—
その他	△21,513	△24,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,561	△122,540
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	129,587	50,088
現金及び現金同等物の期首残高	653,013	771,613
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,124	25,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	798,725	847,629

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人所得税)

当社グループは、第1四半期連結会計期間よりIAS第12号の改訂「単一の取引から生じた資産及び負債に係る繰延税金」を適用しております。

なお、この適用に伴う前連結会計年度及び当連結会計年度の連結財務諸表への重要な影響はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの収益、利益又は損失、資産の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	金属	グローバル部品・ロジスティクス	モビリティ	機械・エネルギー・プラントプロジェクト	化学品・エレクトロニクス	食料・生活産業
収益						
外部収益	2,060,085	880,070	622,934	617,622	1,595,748	561,278
セグメント間収益	3,245	22,815	4,505	3,849	4,475	378
合計	2,063,331	902,885	627,440	621,472	1,600,224	561,657
売上総利益	125,896	82,496	102,104	78,790	125,505	35,613
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	63,942	26,543	37,345	27,459	39,184	8,344
セグメント資産	1,447,185	602,857	409,993	1,017,001	944,817	379,167

	報告セグメント		その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	アフリカ	合計			
収益					
外部収益	1,025,871	7,363,611	3,791	—	7,367,402
セグメント間収益	54	39,326	2,547	△41,873	—
合計	1,025,925	7,402,937	6,338	△41,873	7,367,402
売上総利益	188,176	738,582	△421	△2,757	735,403
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	33,784	236,603	△1,317	142	235,428
セグメント資産	693,536	5,494,560	1,240,109	△218,777	6,515,892

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。また当欄には、特定の報告セグメントに配賦されない損益も含まれております。
2. 「調整額」は、主としてセグメント間取引額を表示しております。
3. セグメント間の取引における価格については、個別に交渉の上、決定しております。
4. アフリカセグメントにおける外部収益は主としてモビリティ事業(車両や産業機械の流通・販売等)、次いでヘルスケア事業(医薬品の製造及び卸売等)における顧客との契約から生じる収益で構成されています。アフリカセグメントの各製品・サービスは、他の報告セグメントに含まれる同様の製品・ビジネスから独立して経営管理されております。
5. 2023年4月1日より自動車本部をモビリティ本部に名称変更しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	金属	グローバル部品・ロジスティクス	モビリティ	機械・エネルギー・プラントプロジェクト	化学品・エレクトロニクス	食料・生活産業
収益						
外部収益	2,151,000	932,693	761,261	582,015	1,556,390	523,314
セグメント間収益	3,844	27,080	5,365	2,549	4,951	2,870
合計	2,154,845	959,773	766,626	584,565	1,561,342	526,185
売上総利益	107,886	92,174	122,793	73,292	129,915	45,085
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	50,923	35,404	45,491	21,342	45,230	10,013
セグメント資産	1,383,512	602,850	468,375	1,221,041	948,676	329,719

	報告セグメント		その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	アフリカ	合計			
収益					
外部収益	1,197,607	7,704,283	5,898	—	7,710,182
セグメント間収益	76	46,738	3,513	△50,252	—
合計	1,197,684	7,751,022	9,412	△50,252	7,710,182
売上総利益	225,711	796,860	355	△4,949	792,267
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	57,990	266,396	4,442	19	270,858
セグメント資産	941,798	5,895,973	1,356,009	△398,839	6,853,143

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。また当欄には、特定の報告セグメントに配賦されない損益も含まれております。
2. 「調整額」は、主としてセグメント間取引額を表示しております。
3. セグメント間の取引における価格については、個別に交渉の上、決定しております。
4. アフリカセグメントにおける外部収益は主としてモビリティ事業(車両や産業機械の流通・販売等)、次いでヘルスケア事業(医薬品の製造及び卸売等)における顧客との契約から生じる収益で構成されています。アフリカセグメントの各製品・サービスは、他の報告セグメントに含まれる同様の製品・ビジネスから独立して経営管理されております。
5. 2023年4月1日より自動車本部をモビリティ本部に名称変更しております。

2024年3月期第3四半期連結決算概要〔IFRS〕

(参考)

四半期推移	1Q	2Q	3Q
売上総利益	2,570	2,634	2,716
営業活動に係る利益	1,137	1,194	1,209
親会社の所有者に帰属する当期利益	927	850	931

2024年2月2日  
豊田通商株式会社  
(単位: 億円)

連結経営成績	前年同期	第3四半期 累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
収益	73,674	77,101	+3,427	+4.7%
売上総利益	7,354	7,922	+568	+7.7%
販売費及び一般管理費	▲ 3,906	▲ 4,283	▲ 377	—
その他の収益・費用	▲ 285	▲ 97	+188	—
営業活動に係る利益	3,161	3,541	+380	+12.0%
利息収支	▲ 175	▲ 216	▲ 41	—
受取配当金	211	226	+15	—
その他の金融収益・費用	▲ 1	53	+54	—
持分法による投資損益	341	235	▲ 106	—
税引前利益	3,538	3,840	+302	+8.5%
法人所得税費用	▲ 936	▲ 1,034	▲ 98	—
当期利益	2,602	2,805	+203	+7.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	2,354	2,708	+354	+15.0%
当期包括利益 (親会社の所有者に帰属)	2,973	4,281	+1,308	+44.0%

主な増減要因
<b>【売上総利益】+568億円</b> 金属市況及び欧州電力価格下落の一方で、自動車販売の増加及び自動車生産関連の取り扱い増加等により増益
<b>【営業活動に係る利益】+380億円</b> 販売費及び一般管理費の増加の一方で、売上総利益の増加により増益
<b>【親会社所有者帰属当期利益】+354億円</b> 欧州電力価格及び金属市況の下落等による持分法投資損益の減少があったものの、営業活動に係る利益の増加等により増益

連結財政状態	前期末	第3四半期末	前期末比	
			増減額	増減率
資産合計	63,770	68,531	+4,761	+7.5%
(流動資産)	40,687	41,653	+966	+2.4%
(非流動資産)	23,083	26,877	+3,794	+16.4%
資本合計	20,685	24,137	+3,452	+16.7%
有利子負債(NET)	12,983	12,927	▲ 56	▲ 0.4%
D E R (NET)	0.7	0.6	▲ 0.1	

主な増減要因
<b>【流動資産】+966億円</b> ・現金及び現金同等物 +760億円 ・棚卸資産 +161億円
<b>【非流動資産】+3,794億円</b> ・その他の投資 +1,030億円 ・有形固定資産 +985億円 ・無形資産 +844億円
<b>【資本合計】+3,452億円</b> ・利益剰余金 +2,116億円 ・在外営業活動体の換算差額 +672億円 ・FVTOCIの金融資産 +585億円

連結キャッシュ・フロー	前年同期	第3四半期 累計期間	前年同期比
営業CF	1,806	3,713	+1,907
投資CF	▲ 986	▲ 1,986	▲ 1,000
差引:フリーCF	820	1,727	+907
財務CF	475	▲ 1,225	▲ 1,700

当期の主な要因
<b>【営業CF】</b> 税引前四半期利益による
<b>【投資CF】</b> 有形固定資産の取得及び子会社の取得
<b>【財務CF】</b> 配当金の支払

本部別	前年同期	第3四半期 累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
金属	1,258	1,078	▲ 180	▲ 14.3%
グローバル部品・ロジスティクス	824	921	+97	+11.7%
*モビリティ	1,021	1,227	+206	+20.3%
機械・エネルギー・プラントプロジェクト	787	732	▲ 55	▲ 7.0%
化学品・エレクトロニクス	1,255	1,299	+44	+3.5%
食料・生活産業	356	450	+94	+26.6%
アフリカ	1,881	2,257	+376	+19.9%
合計	7,354	7,922	+568	+7.7%

当期利益(親会社帰属)の主な増減要因
自動車生産関連の取り扱い増加の一方で、市況下落等により減益
日本、北米を中心とした自動車部品の取り扱い増加等により増益
欧州を中心とした海外自動車販売会社の取扱台数増加等により増益
欧州電力価格の下落等により減益
エレクトロニクス事業、自動車材料事業における自動車生産関連の取り扱い増加等により増益
国内生活産業事業において前期一過性利益があったものの、南米食料事業における輸送費負担減少等により増益
西アフリカ地域を中心とした自動車販売会社の取扱台数増加等により増益

連結業績予想	前期実績	当期予想 (10/31公表)	前期比		
			増減額	増減率	
本部別	金属	1,572	1,580	+8	+0.5%
	グローバル部品・ロジスティクス	1,107	1,160	+53	+4.7%
	*モビリティ	1,367	1,570	+203	+14.8%
	機械・エネルギー・プラントプロジェクト	1,026	980	▲ 46	▲ 4.5%
	化学品・エレクトロニクス	1,640	1,710	+70	+4.3%
	食料・生活産業	479	530	+51	+10.6%
	アフリカ	2,548	2,700	+152	+5.9%
	売上総利益	9,688	10,200	+512	+5.3%
	営業活動に係る利益	3,887	4,400	+513	+13.2%
	税引前利益	4,271	4,600	+329	+7.7%
全社	当期利益	3,147	3,400	+253	+8.0%
	親会社の所有者に帰属する当期利益	2,841	3,200	+359	+12.6%

1株当たり配当金	前期実績	当期予想 (10/31公表)	
中間	96円	125円	
年間	202円	250円 (予想)	
配当性向(連結)	25.0%	27.5% (予想)	
前提となる為替レート	前期実績	当期予想 (10/31公表)	
円/米ドル	135	140	
円/ユーロ	141	150	
主要指標推移	前年同期 (前期末)	第3四半期 累計期間	
為替	円/米ドル 平均	137	143
	円/米ドル 期末	(134)	142
金利	円/ユーロ 平均	141	155
	円/ユーロ 期末	(146)	157
金利	円TIBOR3M平均	0.06%	0.07%
	※ 米ドルSOFR3M平均	2.79%	5.29%
トハイ原油(米ドル/bbl)	94	78	
シカゴコン(セント/Bushel)	702	535	

\*2023年4月1日より自動車本部をモビリティ本部に名称変更しております。

\*2023年4月1日より自動車本部をモビリティ本部に名称変更しております。

\*当期より金利指標を米ドルLIBORから米ドルSOFRへ変更しております。